

デザインは経営の鍵

21世紀倶楽部
浜松でセミナー

中川准教授(静岡文化芸術大)講演

静岡新聞社・静岡放送21世紀倶楽部の11月例会セミナーが24日、浜松市中区のプレスタワーで開かれた。静岡文化芸術大デザイン学部の中川晃准教授が「デザ

インが経営にもたらすもの」と題して講演し、企業経営におけるデザインの戦略的活用やZ世代といわれる若年世代の志向について解説した。

中川准教授は「デザインとは考え方のプロセス。経営と親和性が高い」と強調。

衣料メーカー・ユニクロのコンセプト「Life Wear (究極の普段着)」が完成した過程などを例に、「コーポレートアイデンティティ(CI)やコンセプトは10年先を考えること。理解し合う良きクリエイティブディレクター



「デザインが経営にもたらすもの」と題して講演する中川晃准教授=24日午後、浜松市中区のプレスタワー

(「デザイナー」と長き経営者の両輪が重要になる」と世界的企業の原点を語った。

中川准教授が研究するZ世代の考え方については、仲間内での承認欲求やアイデンティティの強さ、モノに価値を感じないといった特徴を説明。マーケティングに生かす留意点として「他の世代と物差しが違う。Z世代が共感するもの、独自に感性をつかんでファンにすることが大事」と呼びかけた。